

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		老人集会所管理費（老人集会所貸出事業）									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 2	社会福祉施設費	事業番号	2			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	地域振興		課	市民センター			係	課長名	石川 正恵		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進							総合計画書（ページ）	51			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 市内に居住する60歳以上の方及び、原則として市内に居住する60歳以上の方を持って組織する団体				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 市内に居住する60歳以上の方						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①福祉の増進 ②地域交流の活性化				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） ①1日当たりの平均利用者数						
	③ そのために何をしましたか。 集会所の近くの住民に管理人をお願いし、利用者への鍵の受け渡し等を依頼している。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①延べ利用日数（全施設合計） ②延べ利用件数（全施設合計） ③延べ利用人数（全施設合計）						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	26,942 (1/1現在)	27,155 (1/1現在)	27,325 (1/1現在)					
	成果指標	②の数値	人	4.9	5.0	5.2					
	目 標	②の目標値	人	5	5	5	5	5			
		目標値設定の考え方									
3 経費	事業費（実績）		円	510,144	613,811	512,368	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	510,144	613,811	512,338					
		特定財源	円			30					
		(うち受益者負担)	円			30					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.0	0.0					
		所要人数(再任用)	人	0.1	0.1	0.1					
		職員人件費(再任用以外)	円	0	0	0					
		職員人件費(再任用)	円	299,900	301,900	301,000					
事業費+人件費		円	810,044	915,711	813,368						
4 環境変化等	(1) 開始年度 H12 年度										
	(2) 環境の変化 建築から約20年が経過し、設備や備品等の更新時期がきている。 利用者のほとんどが近隣住民だが、他地区同様に高齢化が進んでいる。										

事業名称	老人集会所管理費（老人集会所貸出事業）			
担当部署・課長名	地域振興	課	市民センター	係 課長名 石川 正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 集会所の机が数台、天板が傷んでいるため交換を要望された。また、トイレが男女混同であるため、鍵の設置や内部の間仕切り等の改善要望があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑦		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 建築から約20年が経過しているため、屋根や躯体の老朽化、水道やガス配管等といった設備の更新時期がきている。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 施設の規模や利用者数から、計画的な修繕は行わず、故障した部分や法定点検の指摘事項を中心に修繕を実施している。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☐ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 老人福祉施設のあり方について検討する必要がある。公共施設の配置も含め、高齢者専用の施設でよいのか、畳で問題ないのか、必要な設備等も合わせて再検討が必要ではないかと考える。 公共施設の総量や適正配置を踏まえながら、風呂の廃止や別のサービスに切り替えるなど様々な手法の検討が必要である。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			